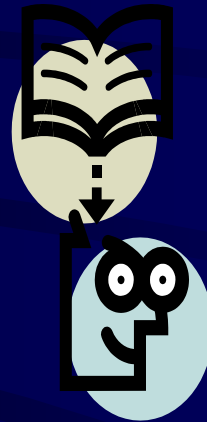


ICPC-2 Training

Coding Seminar



Produced by Masaaki Yamaoka

Translation Shinsuke Fujita

The Japanese Medical Society of Primary Care
Japanese International Classification Committee

Case 1

Male. 49 y.o.

He has fever, nasal discharge, and cough since last night.

Procedures: Medical Exam

Prescription

Dx: Acute upper respiratory infection

- ✓Fever: A03
- ✓Cough: R05
- ✓Nasal discharge: R07

Just code as patient says

Reason for Encounter

✓Medical Examination: R31
Procedures

✓Upper respiratory infection, acute: R74
Diagnosis

✓Prescription: R50
Treatment

Case 2

Female. 5 y.o.

Her mother says she has high fever since this morning.

Her mother asked me to check influenza antibody test.

Performance

Antibody test

Prescription

Final diagnosis:

Influenza A

- ✓ Fever: A03
- ✓ Check influenza antibody: R33

Just code as patient says

Reason for Encounter

- ✓ Medical tests: R31
- ✓ Influenza antibody test: R33
- ✓ Prescription: R50

Procedures

- ✓ Influenza A: R80

Diagnosis

Case 3

Female. 40 y.o.

She has caught common cold. She also have several times of vomiting and diarrhea.

Procedure:

Medical examination

Prescription

Diagnosis:

Acute gastroenteritis

✓Common cold: R74

Just code as patient says

✓Vomiting: D10

✓Diarrhea: D11

Reason for encounter

✓Medical examination: D31

✓Prescription: D50

Procedure

✓Acute gastroenteritis: D73

Diagnosis

Case 4

Female. 27 y.o.

She is consulting a specialist for infertility. Her treatment is now stable stage and she wants to get injection therapy for infertility in GP.

Procedure:

Hormonal injection

Diagnosis: Infertility

✓ Injection therapy for infertility: W50

✓ Referral from specialist: W61

Reason for encounter

✓ Medical examination: W31

✓ Hormonal injection: W50

✓ Reply to specialist

Procedure

✓ Infertility: W15

Diagnosis

Case 5

Male. 8 y.o.

He complains about general abdominal pain and he has fever since yesterday. He vomited several times today.

After medical examination and abdominal X-ray test, I diagnosed as acute appendicitis. I referred to specialists.

- ✓ Abdominal pain general: D01
- ✓ Fever: A03
- ✓ Vomiting: D10

Reason for encounter

- ✓ Medical examination: D31
- ✓ Abdominal X-ray: D41
- ✓ Referral: D67

Procedure

- ✓ Acute appendicitis: D88

Diagnosis

症例6

3歳女兒。

水イボだといって母親が連れてきた。

診察の結果、水痘と診断し、痂皮化するまでの外出禁止を指導して、薬を処方した。

✓水イボ

✓S95

受診理由

✓診察

✓S31

診断行為

✓水痘

✓A72

診断

✓助言/生活指導

✓A45

✓水痘の投薬

✓A50

治療行為

症例7

1歳女児。

のどに魚の骨が刺さった
ようだといって母親が連れて
きた。

診察の結果、咽頭に魚の
骨を発見し、ピンセットで
除去した。

✓のどに魚の骨が刺さった
✓R87

受診理由

✓診察
✓R31

診断行為

✓咽頭異物
✓R87

診断

✓咽頭異物除去
✓R59

治療行為

症例8

57歳女性。

農作業中に右上腕を蜂に刺された。

診察の結果、消毒と投薬を行った。

✓蜂に刺された

✓S12

受診理由

✓診察

✓S31

診断行為

✓蜂刺傷

✓S12

診断

✓消毒

✓S56

✓薬の処方

✓S50

治療行為

症例9

57歳男性。

釣りをしている左の薬指に釣針が刺さった。

釣針を除去して抗生剤を投与した。

受診理由

- ✓釣針による刺傷
- S15(皮膚の異物)

- ✓診察
- ✓S31

診断行為

- ✓釣針刺傷
- ✓S15

診断

- ✓釣針除去
- ✓S59
- ✓抗生剤投薬
- ✓S50

治療行為

症例10

3歳女児。

歩き方がおかしくて、左足が痛いようだと言ったと母親が連れてきた。

左足部が痛いようなので湿布を処方したが原因はわからなかった。

様子を見て、よくならないようなら再診を指示した

- ✓歩き方がおかしい
 - ✓N29
 - ✓左足痛
 - ✓L17
- 受診理由

- ✓診察
 - ✓N31
- 診断行為

- ✓左足痛
- ✓L17

診断がつかなければ
受診理由を病名にする

診断

- ✓湿布処方
 - ✓L50
 - ✓助言/再診指示
 - ✓L45
- 治療行為

症例11

58歳男性。

高血圧で通院している。

今日もいつものように診察したが、水虫の薬が欲しいという。

足白癬を認めたので、軟膏といつもの降圧薬を処方した。

✓高血圧
経過観察
✓K31

✓水虫の薬
希望
✓S50

受診理由

✓診察
✓K31

✓診察
✓S31

診断行為

✓高血圧
✓K86

✓足白癬
✓S74

診断

✓降圧薬
✓K50

✓抗真菌剤
✓S50

治療行為

複数のエピソードを区別してコードする

エピソードが複数ある場合、それぞれコード化していく

症例12

45歳男性。

職場の健診で、肥満 (BMI:32)と高血圧 (BP:155/95)を指摘され受診した。健診時の他の結果は異常なし。自覚症状・既往症・家族歴なし。

食事指導を行い、血圧自己測定を勧め、1ヵ月後の再診を予約した。

✓肥満 ✓血圧の上昇
✓T82 ✓K85

受診理由

✓診察 ✓診察
✓T31 ✓K31

診断行為

✓肥満 ✓血圧の上昇
✓T82 ✓K85

診断

✓助言 ✓助言
再診指示 再診指示
✓T45 ✓K45

治療行為

症例13-1

35歳女性。

1か月前から続く動悸と手の震えを訴えて受診した。

診察を行い、血液検査、心電図検査を行なった。

甲状腺機能亢進症と診断し、食事指導と次回受診予約をした。

✓動悸

✓K04

✓手の震え

✓N08

受診理由

✓診察

✓T31

✓血液

✓心電図

✓T34

✓T42

診断行為

✓甲状腺機能亢進症

✓T85

診断

✓助言/再診指示

✓T45

治療行為

症例13-2

1週間後に受診した。
この間、動悸や手の震えはなかったという。

診察を行い、血液検査、
の説明を行なった。

甲状腺機能亢進症の
診断で投薬をした。

✓甲状腺機能亢進症
の再診

✓T31

受診
理由

✓診察

✓T31

診断
行為

✓甲状腺機能亢進症

✓T85

診断

✓投薬

✓T50

治療
行為

症例14-1

50歳男性。

3週間前から鼻閉、鼻汁が続くので受診した。

後鼻漏があるが身体所見は異常ない。

レントゲン撮影にて右上顎洞の急性副鼻腔炎の診断で抗生剤を処方して再診を指示した。

✓鼻閉、鼻汁

✓R07

受診理由

✓診察

✓R31

診断行為

✓副鼻腔X-p

✓R41

✓急性副鼻腔炎

診断

✓R75

✓抗生剤処方

✓R50

治療行為

✓助言/再診指示

✓R45

症例14-2

数日後、鼻の症状はよくなったが、最近息切れがするといって再診。動く息がきれるので仕事を休んでおり、横になるよりも座っていたほうが楽だという。数年前心筋症といわれ治療を受けたことがあるが、現在は落ち着いているため定期通院はしていないという。

胸部聴診上湿性ラ音を聴取。酸素飽和度92%、胸部X-P上著名な心拡大と肺浮腫を認め心不全を合併したものと診断した。

利尿剤静注により症状は改善したが、精査加療のため入院を勧めた。

エピソードが複数ある場合、それぞれコード化していく

<ul style="list-style-type: none"> ✓副鼻腔炎 再診 ✓R31 	<ul style="list-style-type: none"> ✓息切れ ✓R02 	<p>受診理由</p>
<ul style="list-style-type: none"> ✓診察 ✓R31 	<ul style="list-style-type: none"> ✓診察 ✓R31・K31 ✓SpO2 ✓R39 ✓胸部X-p ✓R41 	<p>診断行為</p>
<ul style="list-style-type: none"> ✓急性副鼻腔炎 ✓R75 	<ul style="list-style-type: none"> ✓心不全 ✓K77 	<p>診断</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ✓利尿剤静注 ✓K50 ✓入院助言 ✓K45 	<p>治療行為</p>

症例15-1

34歳女性。

頻尿と排尿時痛で来院。
血圧も心配だと言う。

尿検査で沈査に白血球を認め、膀胱炎の診断で抗生剤を処方した。

血圧は170/100mmHgと高値で、1週間後に血圧測定のため再診を指示した。

- ✓頻尿
- ✓U02
- ✓排尿痛
- ✓U01

- ✓血圧が心配
- ✓K25

受診理由

- ✓診察
- ✓U31
- ✓尿検査
- ✓U35

- ✓血圧測定
- ✓K31

診断行為

- ✓急性膀胱炎
- ✓U71

- ✓血圧上昇
- ✓K85

診断

- ✓抗生剤処方
- ✓U50

- ✓再診指示
- ✓K45

治療行為

エピソードが複数ある場合、それぞれコード化していく

症例15-2

症例11の女性が血圧測定のために再受診した。膀胱炎については「治りました」という。医師は再発予防のアドバイスを行なった。今回の血圧は正常範囲だったので、1か月後に血圧測定のため再診を指示した。

✓膀胱炎再診
✓U31

✓血圧測定
✓K31

受診理由

✓診察
✓U31

✓血圧測定
✓K31

診断行為

✓急性膀胱炎
✓U71

✓一過性高血圧
✓K85

診断

✓再発予防
✓U45

✓再診指示
✓K45

治療行為

前回の複数のエピソードを再診時もフォローする